

農薬は適正に使って 事故ゼロ！

農作物の残留農薬超過事案や農薬散布による人やミツバチに対する被害、農薬の保管管理不良による誤飲事故は、全国で毎年のように起きています。農薬事故をなくすため、農薬は適正に使用・管理しましょう。

《農薬を使う前には》

○ 農薬は最新の登録内容を確認しましょう。

最新の登録内容は、(独)農林水産消費安全技術センターの農薬登録情報提供システム (<http://www.acis.famic.go.jp/>) で検索できます。

○ 農薬は必要な量だけ購入しましょう。

○ 防除器具の点検・整備をしましょう。

○ 周辺住民等へ農薬散布の日時などを連絡しましょう。

登録内容を確認めよう！



住宅地等の近くの散布は、より一層の配慮が必要です！

- ・できるだけ農薬を使わないようにしましょう。
- ・病虫害や雑草は発生の少ないうちに対策しましょう。
- ・近くに化学物質に敏感な方が居住している場合は、十分に配慮しましょう。
- ・散布場所に人が立ち入らないように、看板などで表示しましょう。
- ・近くに学校や通学路がある場合は、事前に学校や保護者への連絡をしましょう。

また、散布時間にも注意しましょう。



〔参考〕農林水産省 / 住宅地等における農薬使用について
http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_tekisei/jutakuti/index.html

《農薬を使う時には》

- マスクや手袋などの保護具を着用しましょう。
- 周辺へ飛散や流入しないように注意しましょう。
 - ・農薬散布は風が無いか弱い時に行いましょう。
 - ・粒剤など飛散の少ない農薬の使用を検討しましょう。
 - ・散布区域は最小限にとどめましょう。

〔参考〕農林水産省 / 農薬飛散（ドリフト）低減対策に関する情報
http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/g_nouyaku/



水田などに散布した農薬が、ミツバチへ被害を及ぼすかもしれません！

- ・特に水稻の開花期直前～開花期後2週間程度に農薬散布をするときは、
 - ①ミツバチの活動が盛んな時間帯（午前8～12時）の散布を避け、
 - ②ミツバチに農薬がかからないよう、粒剤等の飛散しにくい農薬を使うようにしましょう。

〔参考〕農林水産省 / 農薬による蜜蜂の影響について
http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_mitubati/honeybee.html

《農薬を使った後には》

- 散布履歴を記帳しましょう。
- 散布器具やホース等は十分洗浄しましょう。
- 農薬は適切に保管しましょう。
 - ・誤飲防止のため、農薬の移し替えは絶対しないようにしましょう。
 - ・農薬は鍵のかかる場所に保管しましょう。
- 空容器は廃棄物処理業者に依頼するなどにより適切に処分しましょう。



【農薬関係情報はこちらから】

茨城県農林水産部産地振興課エコ農業推進室 / 農薬のページ

<http://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/econou/eco/contents06.html>

農林水産省 / 農薬コーナー

<http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/>

農薬を使用する際は、ラベルや最新の登録内容を確認し、使用基準を守りましょう